

道央のものづくり

産業支援事業ガイド

No.14

2026年4月発行

公益財団法人 道央産業振興財団

苫小牧市 苫小牧港西港区から苫小牧市街地と樽前山

産業支援事業ガイド2026

技術者の育成、ものづくりを支援します!

道央地域《苫小牧市、千歳市、恵庭市、安平町》に所在する
中小企業等が支援事業の対象です（みなし大企業は対象外です）。

《実施要綱は、財団のホームページをご覧ください》

1. 研究開発の支援

申請期限：5月29日（金）17時

【詳細はP3をご覧ください】

中小企業が行う技術開発や技術の活用研究等に要する経費の助成など、
地域の高度技術の研究開発に寄与する事業を実施します。

① 新技術・新製品開発助成事業

中小企業の技術開発・生産技術の促進を図るため、新技術・新製品等の開発、試作品の
製造及び生産工程の合理化・高度化等に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用が可能な技術開発事業
- ・市場化が可能な製品開発事業
- ・生産設備の高度化、生産工程の合理化を図る事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、
外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、
デザイン開発費、その他経費



② 技術開発の芽育成助成事業

中小企業の技術開発の促進を図るため、新技術・新製品等の研究開発を行う上で、課題
解決に必要な試作完了までの基礎調査、情報収集及び開発検討に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用等の研究開発事業
- ・市場化への可能性等の製品開発事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、
外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、
デザイン開発費、その他経費



2. 製品開発の支援

申請期限：5月29日（金）17時

【詳細はP3をご覧ください】

地域技術の応用や地域資源を活用した製品開発に要する費用の助成など、地域における製品開発を支援する事業を実施します。

① 製品開発助成事業

地域の企業等が有する技術の応用による製品化及び商品化を行うため、商品開発、情報収集、販路拡大などの事業を行う中小企業に対し、製品開発に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用等の開発事業
- ・市場化への可能性等の製品事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、情報収集費、デザイン開発費、消耗品費他

助成限度額

70万円

10/10以内

② 地域資源活用助成事業

地域の農産物等の資源を活用した製品・商品開発等の促進を図るため、付加価値の高い製品・商品開発を行う中小企業等に対し、製品開発に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・地域の資源を活用した新製品、新商品の開発
- ※農・畜産・林産・水産・地下資源を活用した事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、外注加工費、技術指導費、委託費、デザイン開発費、消耗品費他

助成限度額

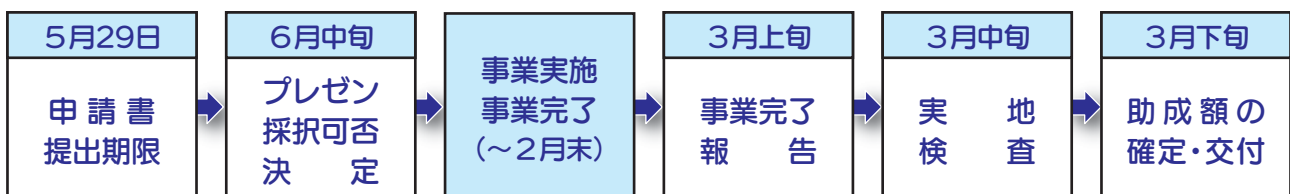
30万円

10/10以内

《 助成事業 (P2.P3) の申請書提出期限等について 》

- 1) 申請書の提出期限は、1. 研究開発の支援(P2)、2. 製品開発の支援(P3)を **5月29日(金)17時必着**とし、その他の事業は、お問い合わせください。
- 2) 実施要綱、申請書などは、(公財)道央産業振興財団のホームページからダウンロードしてください。

～助成事業（研究開発の支援及び製品開発の支援）の流れ～



- ホームページ <http://dohgi.tomakomai.or.jp>
- メール dohgi@ains.tomakomai.or.jp



3. 地域産業活性化の支援

申請に当たってはお問い合わせください

中小企業や団体等が地域の産業活性化のために行う研究活動や交流活動への参画・費用助成など、地域産業の活性化に寄与する事業を実施します。

①ひとづくり・起業支援事業

地域の人材と技術を繋ぐネットワークによるものづくり等の研修・研究活動、ものづくりに関わる人材を育てる活動の支援、地域産業関連の起業への支援のほか、講演事業等を実施する団体等に対し、事業に要する経費の一部を助成

対象事業

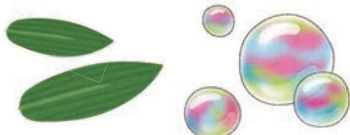
- ・ 地域産業関連の起業や地域産業の活性化を目的とする研修・講演等の事業（大学・公設試験研究機関等との連携事業）

対象経費

会場費、講師の招聘経費、印刷費等



助成事業成果事例



● 苫小牧発明研究会 『自然と遊ぼう！エコ遊び！』

2025年7月5日（土）

◎場所：苫小牧オートリゾートアルテン

苫小牧発明研究会は、自然エネルギーや自然環境の大切さ、ものづくりの世界を広く伝えることを目的に「自然と遊ぼう！エコ遊び！」を実施しました。

参加した子供たちは、イタドリの水鉄砲づくりや小枝を使った木工づくり、手回し発電機でシャボン玉遊びなどを体験し、作り上げたもので元気よく笑顔で楽しんでいました。



②地域特産品プロジェクト等助成事業

対象事業

- ・ 地域資源を活用した特産品等の商品化事業、地域の産業おこし、ものづくりプロジェクト（大学・公設試験研究機関等との連携事業）

対象経費

会場費、原材料費、技術指導費等



4. 経営の支援

申請に当たってはお問い合わせください

経営に関する指導助言、販路拡大の取組に対する費用助成など、中小企業の経営基盤の安定化、新事業創出等を支援する事業を実施します。

1) 経営管理支援事業

中小企業の経営力の向上、安定を図るため、人事・労務等の実務に係る情報提供や事業継続計画の策定などの支援を行っています。お気軽にお問い合わせください。

2026年1月28日

「現場と経営に効く！生成AIセミナー」を千歳市の千歳アルカディア・プラザで開催しました。参加者からは「生成AIの活かすポイントなどを体験しながら得られました」との声がありました。



2) 市場拡大等助成事業

中小企業が販路拡大等を図るため、自ら製作した製品を国内展示会に出展する際の経費の一部を助成します。出展する場合は、あらかじめ業務部へお問い合わせください。

① ビジネスEXPO 2026 への出展

開催時期

2026年11月5日(木)・6日(金)

開催場所

アクセスサッポロ(札幌市白石区)

対象経費

出展小間料を助成します。



出展小間料

全額助成

● ビジネスEXPO 2025

道内の中小企業の販路拡大、技術力向上等を目的とし新たなビジネスチャンスの創出を目指した北海道最大級の展示会で、2日間で約21,600人の来場者がありました。

(株)岡田建具製作所、フードテクノエンジニアリング(株)及び(株)JPCの3社が当財団の支援を受けて出展しました。

● 開催日：2025年11月6日(木)・7日(金)

● 開催場所：アクセスサッポロ(札幌市白石区)



② 道外の展示会出展

道外で開催される展示会に出展する場合は、30万円を限度に出展小間料を助成します。

※ 年度内1社1回です。



助成限度額

30万円

5. 技術者等の育成

申請に当たってはお問い合わせください

各種技術研修等の受講料助成や中小企業の技術者育成に要する費用の助成、専門家による技術支援など、技術者等の育成を支援する事業を実施します。

1) 技術研修助成事業

中小企業等が従業員の技術及び知識の習得に必要な研修等の受講料を助成します。

技術研修助成事業（能力開発セミナーの受講料助成）

対象事業

- ・ 生産現場の実技研修（機械保全、PLC制御等）
- ・ 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構主催の
下記研修会場等で行う能力開発セミナー
(1事業所が同一年度内に受講できる人数に上限があります)



＜研修会場＞

- 北海道職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター北海道)
札幌市西区二十四軒4条1丁目4-1
- 北海道職業能力開発大学校
(北海道ポリテクカレッジ)
小樽市銭函3丁目190番地
- 苫小牧市テクノセンター
苫小牧市字柏原32番地の27
- トヨタ自動車北海道(株)
苫小牧市字勇払145番1



主な研修会場の様子

2) 技術人材研修助成事業

地域内の中小企業や研究者が人材育成及び技術習得のため、道内外の研究・研修機関で実施する研修会等への派遣、工場等における社内研修に対し、その経費の一部を助成します。

① 技術者等人材研修助成事業

対象事業

- ・ 大学、企業等における研究・研修機関等で行う研修
3日間以上の研修（1企業1名のみ）
交通費、宿泊費、研修参加費の10/10以内を助成

※ 中小企業大学校旭川校で行う3日間以上の研修も対象となります。



② 工場等社内研修助成事業

対象事業

- ・ 工場等社内で実施する研修
対象人員の半数以上が受講する研修
講師の招聘経費（交通費、宿泊費、謝金）の10/10
以内を助成



3) 専門家派遣助成事業

申請に当たってはお問い合わせください

中小企業が経営革新または経営課題の解決、生産技術の課題の解決などを図るため、必要な専門的知識と実務経験を有する専門家から指導、助言等を受けるために要する経費の一部を助成します。

対象事業

- ・経営及び技術上の課題解決を図るため専門家の指導及び助言を受けるために行う事業

専門家の技術指導料・交通費・宿泊費の10/10以内を助成

助成限度額

15万円

6. 産業力強化支援

技術コーディネート事業

ものづくり基盤技術の高度化を図るため、技術相談・助言・技術開発及び製品化等のコーディネート活動、技術力・生産性向上の支援や各種補助制度の紹介、申請支援等を行います。

〈主な活動内容〉

- ・技術相談及び助言等の支援活動
- ・産学官情報交流等の活動
- ・産業支援機関等との連携活動
- ・国等のものづくり事業等への支援活動

2024年度 製品開発助成事業の成果事例

(有)プロセスグループ夢民舎

住 所 勇払郡安平町早来大町141番地

電 話 (0145)26-2355

U R L <https://www.muminsha.com>

安平町にワイン醸造所が開設されることから、チーズに組み合わせる新規素材としてワイン及びその搾りかすを用い、地産地消と当社のチーズ開発で蓄積してきた製造技術などを活用した新たな商品開発に繋がる事業に取り組みました。

ワイン醸造工程で出るブドウの搾りかすを用いたチーズは、ワインとチーズ両方の魅力を融合させ、ワインの風味がしっかりと染み込んだ特徴的な味わいを有するものを目指しました。

様々なタイプのチーズ（フレッシュ、セミハード、白カビ、青カビ）で試作し、官能評価で検討を行ったところ「ブルーチーズ」が見た目、食感、風味において商品化の可能性があると



に至りました。今後の研究では、搾りかす回収時の衛生面での対策や酵母による異常発酵対策、搾りかす・ワインの適量と熟成期間などの検討課題があるとして



2025年度 研究開発助成・人材育成及び支援事業の概要・実績

事業名	事業者	
★ 新技術・新製品開発助成事業		
燃料電池向けカーボンセパレータを量産可能とするプレス成形時の装置開発	(株)FJコンポジット	千歳市
★ 技術開発の芽育成助成事業		
地域内新商品開発体制の確立	(株)岡田建具製作所	恵庭市
米国輸出用しょうゆラベルのデザイン開発および製作	TSOスタッフ	苫小牧市
★ 製品開発助成事業		
自社で発生している発砲スチロール廃材を用いたリサイクル製品の開発	岩倉化学工業(株)	苫小牧市
★ ひとつづくり・起業支援事業		
自然と遊ぼう！エコ遊び！・発明&デザイン 地域宝おこし	苫小牧発明研究会	苫小牧市
安平町誘致企業会「経済セミナー」～北海道の明日を創る～	安平町誘致企業会	安平市
★ 市場拡大等助成事業		
ビジネス EXPO への出展（札幌市）	(株)JPC 他	3社
スーパーマーケット・トレードショーへの出展（千葉市）	(株)肉の山本 他	6社
★ 技術者等育成事業		
技術研修助成事業	受講者	合計 88名
技術人材研修助成事業	トラスト・セキュリティ(株) 他	2社

※事業別助成件数の推移

(年度/件数)

事業名	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
新技術・新製品開発助成事業	4	4	3	4	4	4	1
技術開発の芽育成助成事業	4	4	1	4	3	2	2
製品開発助成事業	1	1		1		1	1
地域資源活用助成事業	1						
地域ものづくり助成事業（2023年度より上記事業に統合）	1	1					
ひとつづくり・起業支援事業	2	1	1	2	2	2	2
地域特産品プロジェクト等助成事業	1						
市場拡大等助成事業	14	9	10	9	9	12	9
技術研修助成事業（受講者数）	131	23	46	64	111	93	88
技術人材研修助成事業	1		2	2	5	3	2
専門家派遣助成事業				1		1	

財団助成事業紹介

【事業名:リアルタイムで寒冷地における水位を監視するクラウドシステムの開発】



当財団の「2024年度新技術・新製品開発助成事業」において、(株)ハイテックシステムが実施した「リアルタイムで寒冷地における水位を監視するクラウドシステムの開発」について、担当された酒井裕司さんにお話を伺いました。

◇御社の業務について御紹介ください

「ハカル、ウゴカス、トトノエル、ツナグ」をキャッチフレーズとして、計測・監視・制御の技術を軸に、ダムや水力発電所などにおける、さまざまな電気設備を提供しています。

当社の強みは、設計から製作、施工までを一貫して自社で行い、ハードウェアからソフトウェアまでシステム一式を提供できることです。

「ないモノはつくる」が基本姿勢。近頃は、これまでの経験とノウハウをもとに農業や漁業など第一次産業分野のシステム開発も手掛けています。

また、無線通信技術であるLPWA (Low Power Wide Area) に注目し、IoTを実現するクラウドサービスも提供し始めました。



弊社で開発した製品の一例

◇リアルタイムで水位を監視するクラウドシステムの開発を目指した理由を教えてください

北海道には約2千か所のため池が存在しています。そのうち約30%が山間部やインターネット環境が不十分な地域にあるため、多くの水位管理は、現地における目視確認で行われています。離れた場所に点在するため池等の水利施設やその他水位管理を要する場所(以下、「管理対象」という)を巡回して水位の確認をすることは、多大な労力と費用がかかります。

株式会社 ハイテックシステム

■会社概要

設立 : 1991年(平成3年)2月
 代表 : 代表取締役 酒井 智
 住所 : 北海道恵庭市戸磯76番地22
 電話 : (0123) 32-8141
 業種 : 電気機械器具製造業
 U R L <https://www.hitech-system.co.jp>

さらには、「カメラで監視する方式では、管理者が常時映像を気にしていなければいけない」、「水位センサーで監視する方式では、北海道の寒冷地対応になっていないものがあり、対応したものは非常に高価であること」など、道内での利用ニーズを満たす使いやすくリーズナブルなものが存在しないことが分ったからです。

◇本技術開発の成果を教えてください

本事業を通じて、管理対象に設置する水位センサーとデータをクラウドサーバーへ中継する装置など、5項目(① Wi-Fi HaLow, Sigfox, LoRa など設置環境に適した親子間無線通信方式の検証、② リーズナブルな水位センサーの選定、③ 水位センサークラウドサーバーへデーターを中継する装置の開発、④ 複数の貯水池の一括管理を実現するクラウドシステム、⑤ソーラー電源による自律稼働)について実現するシステムを構築しました。



本事業の水位計等の写真

◇今後の予定・展望などを聞かせてください

本システムを導入することで、① 監視コストの削減、② リアルタイム監視の実現、③継続的なデータの分析、④ 安全性の向上など、事業効果や効率化を図ることができます。

道内での本システム導入が見込まれる管理対象は、少なくとも道内のため池全体の約10%に当たる2百か所と見込んでいます。加えて、日本全体のため池数は、約16万か所(うち15万か所が管理登録)あり、これ以外にも水位管理を必要とするか所が見込まれることから、さらに大きな市場の形成が期待されます。

公益財団法人 道央産業振興財団は、 道央地域の“ものづくり”を支援します

《苫小牧市・千歳市・恵庭市・安平町》

『ものづくり』に取り組む企業の皆様に、様々な支援や技術者の育成を通じて、企業力向上のお手伝いをしています。

☆技術コーディネーター

技術力及び生産性向上に向けて、各種補助制度の紹介と申請支援などを行っていますので、ぜひお問い合わせください。



ナカ ノ ジュンイチ
中野 純一



カメ ダ オサム
亀田 修



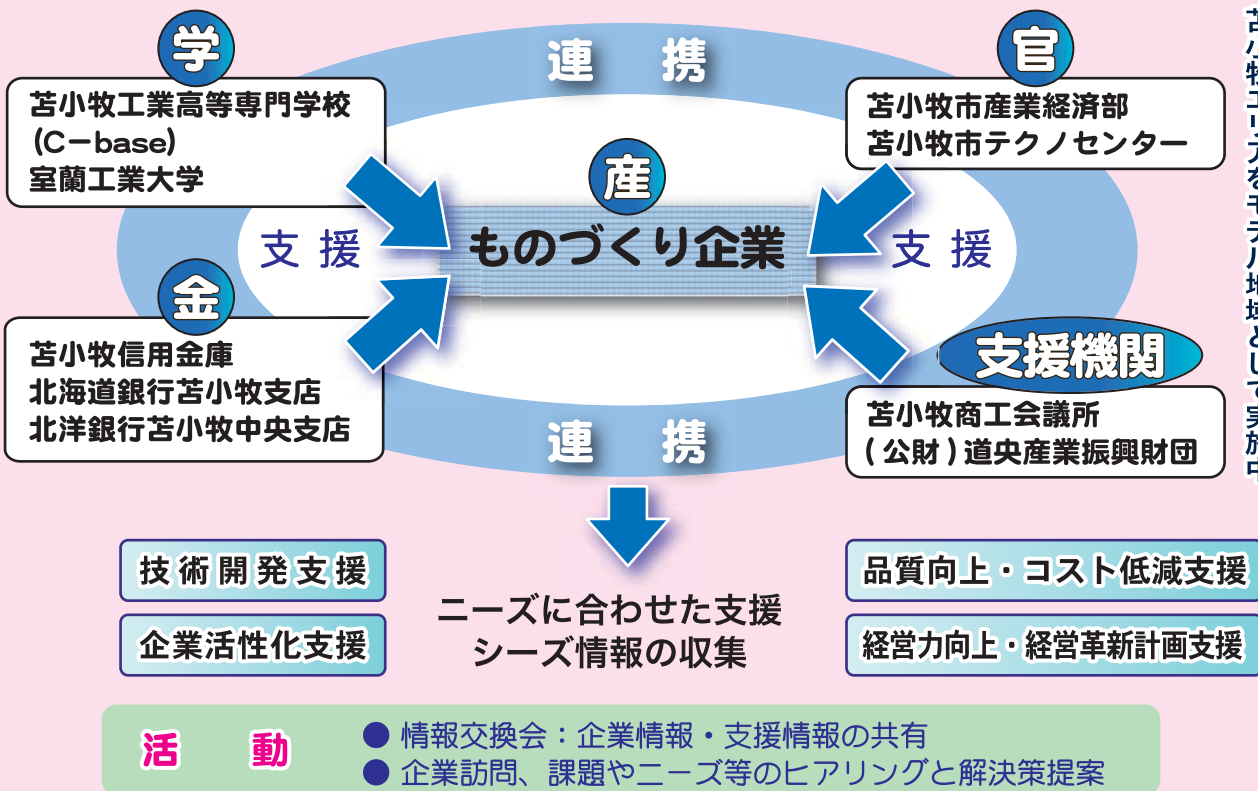
アラ カワ セイ キ
荒川 聖樹

☆業 務 部

技術開発・製品開発・人材育成等の財団助成事業の窓口です。

GKK（ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 - 道央圏）

学・官・金の実務担当者がチームを組み、ものづくり企業（道央圏域）の技術支援、各種支援制度の活用、技術情報の提供をはじめ、様々な御相談に応じています。



苫小牧市テクノセンター

地域企業の技術力向上と工業技術高度化への支援を行っています。

- **研究開発支援** …… 企業が必要とする新製品、新技術の研究開発を推進するための技術的支援
- **試験・検査・証明** …… 企業からの依頼による材料試験、精密測定、非破壊検査の実施と成績書の発行
- **設備機器の開放** …… 設備機器の取扱指導及び利用開放
- **技術指導、相談・研修** …… 技術力向上に資するための相談、指導、研修
- **産・学・官交流** …… 企業と大学・工業高等専門学校及び公的試験研究機関との連携
- **情報受発信** …… 工業技術に関する資料、専門図書及び試験・研究・製品の資料整備と提供

令和7年度 更新機器

高速精密切断機・自動埋め込みプレス機・自動研磨機の3機器で構成され、金属材料のマクロ組織試験、顕微鏡組織観察、硬さ測定等を実施する際の試料の調整に使用します。

顕微鏡観察用試料調整システム



高速精密切断機
試料の切断



自動埋め込みプレス機
試料の樹脂埋め込み



自動研磨機
観察・測定面の研磨

JKA Social Action
競輪とオートレースの補助事業

苫小牧市テクノセンター

所在地：〒059-1362 苫小牧市字柏原32番地の27
電話：(0144) 57-0210・FAX(0144) 57-1122
URL：http://www.tomatech.jp・E-mail tomatech@tomatech.jp



地域の話

(株)ダイナックスが安平町追分に ワイナリーを新設しました



自動車等駆動系専門メーカーの株式会社ダイナックスは、2025年9月に安平町追分でワイナリー（ダイナックス アーロム ワイナリー）を新設しました。



「アーロム」はハンガリー語で「夢」という意味で、地域に根ざした世界に誇れるワインづくりを目指すとし、ハンガリーで出会ったブドウ畑の絶景から始まったロマンあふれる挑戦を同町で新たに展開するワインプロジェクトです。チーズ文化が根付くこの地で涼やかな気候を活かしたブドウ栽培に、ものづくりの精神を込めワインの醸造を行っています。町内の畑では約2万9千本の木が育ち、ブドウの収穫も行われました。2026年3月にファーストヴィンテージがリリースされています。

